

2010年7月24日会合議事録

期 日：2010年7月24日 9:40～13:20

場 所：広尾 JICA 地球ひろば 402 セミナールーム

参加者：17名

【実施内容】

- ① アイスブレイク（自己紹介）
- ② Aさんプレゼンテーション「「豊かさ」と経済」発表
- ③ ワールドカフェ
- ④ DAWAについて
- ⑤ 報告・連絡

1. 自己紹介・アイスブレイク（9:40～）

4つのグループに分かれてそれぞれ自己紹介を行った。

2. プレゼンテーション「「豊かさ」と経済」発表（9:50～）

※発表内容は添付資料参照

【質疑応答】

Q. 創造都市の一例として挙げられているバルセロナでの文化政策は、浜松市のような多文化社会を活かしたものか、または、スペイン独自の伝統を活かしたものか？
遊牧民と定住者に対する法制度の違いは？

A. バルセロナは、両方の性質を持っているように思える。独自の歴史的建造物やイベント等を通じて海外からの観光客や移民を受け入れ、その多様性を活かした文化政策をしている。

Q. モンゴルではどのような問題に対する裁判が多いのか？

A. 田舎ではまだそれほど裁判は多くなく、地域の話合いで解決されることが多いようだ。都心部では、傷害事件、強盗、契約等のトラブル、家畜の窃盗等さまざまである。

Q. ブータンの貧困について、結局、「貧困」とは何を指すのか？その一方、バルセロナでは何を豊かさの指標としたのか？

A. ブータンの貧困については、収入や電化の遅れ等経済的な貧困もあるが、それ以外



にも、教育機会の欠如等、ソフト・能力面なども、貧困に含まれるのではないか。また、バルセロナの文化政策について、あまりにも成果を求めすぎると、経済的・数値的な指標になってしまうが、主眼・主目的はそこには置かれていないように思える。

Q. 創造都市の定義について、都市が「科学や芸術における創造性に富む」ことと、「技術革新に富んだ産業を備え」ていることの両立は難しいように思えるのだが、どのようにして両立させるのか？

A. 経済発展に伴い、第一次から第三次へと産業は変化していくが、どれだけ経済発展を遂げた社会でも、農業、工業が存在することによって社会が構成されている。その考えが前提としてある。

Q. ブータンの貧困について私が疑問に思った経験がある。ガサ県ラヤに行った際に、未電化の地域であるにも関わらず、100万円単位の現金を村人が手にしていたことだった。つまり、現地の人たちは、冬虫夏草とヤクの製品によって現金収入を得ている。電気がなく、経済が発展しているとは思えない地域でも、100万円単位の現金を持っていることを知り、「豊かさ」についてどのように捉えることができるのか、私はそのときから混乱している。

A. 私はプナカまでなら行ったことがあるが、その際に、食べ物があるにも関わらず貧困と呼べるのか、と私自身も同じような疑問を感じたという経験がある。

Q. 大学院生は概念の関連付けがうまい。私は支援屋として長年活動してきたが、その基礎となるのは、データの分析である。「貧困」という言葉が出ているが、ブータンには政府が決めた貧困の定義がある。その貧困層を削減したいというのが、政府の目的でもある。今回の論文にはデータが少なすぎるように思える。必要であれば、Yさんや私からもらったら良い。

A. わかりました。

Q. Mさんへの質問だが、JICAの認識では、先ほどYさんから指摘があった、ラヤは貧困地域に含まれるか。また、中国（チベット側）と密かに貿易を続けていることに関しては、統計には表れない数値であるのではないか。それから、文化経済的には、ラヤの帽子や衣装には独自の価値があると思うのだが、ラヤッパのキラやゴの着用は、いつくらいから始まったものか。それは彼らがラヤッパを超えて、ブータン人化したいという気持ちの表れではないか。

A1. キラやゴの着用についてだが、ラヤの男性の場合は、プナカに降りる際には、60年代からヤクでできたゴを着用しており、その後すぐにブータン人と同じようなゴを着用し始めた。女性は、プナカに行くときにはキラを昔から着ていた。やはり、そ

れはブータン人（ドゥクパ）から見下されたくないという気持ちがあるようだ。ドゥクパからの見方としては、ラヤッパは同類だが、ちょっと下の人間であり、ブクパは別人。ネパーリは完全に見下しているという感覚があるようだ。

A2. JICA ではラヤに特化した調査や支援はしたことがないだろう。しかし、S さんが言うように、裏で取引される経済データは取ることが難しいのは事実である。

日本人の考え方では、観光客を多く呼び込むと、それだけ旅費が安くなるという考えるのが普通だろう。しかし、ブータンには、別な考え方の経済があるように思える。例えば、どんなに小さいリンゴがなっていようとも、改良しようとしめない。日本人の経済論と、ブータン人の経済論には違いがあるのではないか。内閣府が調査したデータは非常に興味深いが、このデータとブータンの関連を読み解くのも研究として面白いのではないか。

【質問者からのお礼】 ありがとうございます。今後 12 月末に提出する予定の修士論文に向けて、今後ともよろしくお願ひします。

2. 休憩（11：30～）

3. ワールドカフェ（11：35～）

プレゼンテーションを受けて、ワールドカフェを行った。

ワールドカフェとは、堅苦しい会議とは違い、カフェにいるときのように気軽な雰囲気で行われる想像力豊かな話合いのこと。



【ディスカッションテーマ】

① あなたにとって、豊かさを構成する要素は何ですか？

〔意見〕

- ・ 贅沢はしなくてもいいので、衣食住の心配をしなくてもいいこと。
- ・ 安心できる未来があること。
- ・ 自助・公助・共助のバランスが取れていること。
- ・ 基礎にあるものは、健康とお金。
- ・ 自己実現、自己満足

② 創造都市やブータンの試みから、あなたの生活をより豊かにするために、どのような点を取り入れたいですか？？

〔意見〕

- ・ 芸術や伝統文化を楽しむ気持ち、余裕とりわけ、芸術に触れる機会が首都圏と地方部では大きな格差があり、そのギャップを埋めたい。
- ・ 創造都市の考えから、芸術や科学を都市に取り入れるのは、良いアイデアだと思うが、まちおこしとしてのブームの一環になってしまえば、意味がない。
- ・ ブータンと日本を比較してみると、ブータンのほうがあらゆるものに対して上手な選択ができてるように思える。日本には選択肢は多いが、実際私たちが生活するうえで、その選択をできない環境にいるのではないか。「衣食住足りて礼節を知る」という言葉にあるように、GNHという考え方が魅力的に感じるのは、経済的な豊かさを遂げた日本や欧米においてであって、まだまだ発展の余地があるモンゴルにおいてGNHは魅力的にうつるのか。



- ③ 日本において、“豊かな社会”を実現するために、あなた・政府・地域社会は、何をすべきだと思いますか？創造都市やブータンの試みから、あなたの生活をより豊かにするために、どのような点を取り入れたいですか？

[意見]

- ・ 最低限の衣食住を確保し、心配なことがない社会作り。
- ・ 少子高齢社会であるためなのか、先日の選挙公約を見ても、どうしても政府の視点が年配の人たちに向いているように思える。若者にも多くの対処すべき問題が存在する。
- ・ 政府が目指している方向性が見えない。

【意見共有】:各グループで話し合ったことを参考に、数名の人に意見を発表してもらった。

Fさん

バルセロナでは、きれいな街並みが残っており、建築物見ているだけでも楽しいが、その外観だけをまねても仕方がない。汐留にイタリア街という街があるのだが、そこは形だけを真似したためにイタリアの魅力は感じられず、むしろ中身が伴わないことに対するギャップや違和感を感じる。つまり、ハード面のみならず、ソフト面での街づくりに取り組まないといけない。

Sさん

街には歴史やその成立背景がある。歴史や背景なくして、外観だけをまねたために、イタリア村は違和感を感じる場所になってしまったのではないか。私の住む青森市でも、

最近「ねぶたサンバ」を始めようとしている。伝統のないものを作り上げて相応な努力と覚悟がない限り、なかなか根付かないと思う。



Nさん

バリ島のダンスももともとはドイツ人が持ち込んだもの。何事も50年たてば伝統になる。そこまでの努力が必要。

Yさん

浅草のサンバも同様の例だと思うが、今ではすっかり根付いている。

4. DAWAについて

現在、翻訳版の発行を目指して取り組んでいるDAWAについて、進捗状況の報告を行ったとともに、発行目的、及び発行形態をそれぞれ班ごとに話し合い、共有した。

【意見：発行の目的について】

- ・ 資料にあるとおり、「多くの人にブータンの根底に流れる考えを知ってもらうため」でいいのではないか
- ・ 翻訳に関与していないため、内容がわからない
- ・ かしまらず、ゆるい感じでブータンについて知ることができること

【意見：発行形態に関して】

- ・ 書籍として自費出版したら良いのではないか
- ・ 電子書籍は出版費用が非常に安いという話を聞いたが、そこまで調べているか
- ・ 電子書籍はまだそれほど普及していないため、読む人が限られるのではないか
- ・ 両方良い面があることから両方の方法で出版したらいいのではないか

◎話し合いを終えて（私の感じた印象）

- ・ 書籍（本）及び電子書籍ともにメリット・デメリットはあるものの、
- ・ 判断するためには、それぞれの出版にかかる費用や時間、労力等についてより詳しい情報が必要。
- ・ この場では判断はできないため保留とした。

【意見：収益に関して】

- ・ 発行形態によっても収益率が異なるという話を聞いたことがある
- ・ 現地団体へ寄付をするのが良いと思うのだが、ブータンの団体の場合には運用がしっかりとできているかのチェック体制が必要
- ・ 今から収益の話をするのは時期尚早

6. 終了 (13:20)

その後、地球ひろば 1F のカフェフロンティアにて食事。

以上